

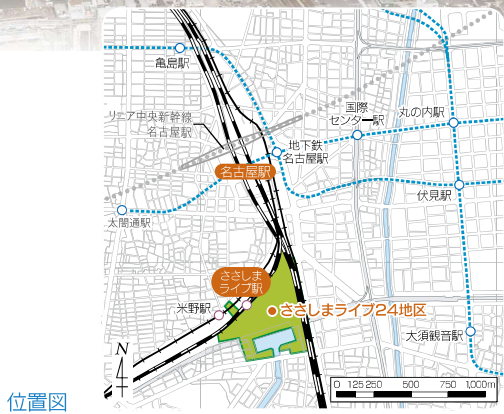
はじめに

名古屋駅の南に位置する旧国鉄笹島貨物跡地の約12.4haと中川運河船だまり周辺を含む「ささしまライブ24」では、国際歓迎・交流の拠点を目指したまちづくりを行っています。

この地区の歴史をひもときますと、明治19年、現在の笹島交差点付近に旧名古屋駅が開業したことに始まります。現在の位置に名古屋駅が移った後、昭和12年に笹島貨物駅が開設され、隣接する中川運河とともに物流の一大拠点として機能してきました。昭和61年に貨物駅が廃止された後は、都心部に残された希少な大規模遊休地となっていました。新たなまちづくりに向けた土地利用への転換を図るため、平成11年度から本市施行の土地区画整理事業を進めています。

これまで、都市基盤の整備が鋭意進められ、貨物駅跡地の開発がほぼ完了し、平成29年10月にはまじびらきが行われました。また、令和元年5月には都市計画道路椿町線および土地区画整理事業地区内の笹島線が開通し、さらには令和2年3月に街路事業として笹島線の東側区間を事業化し、名古屋駅周辺の交通状況が大きく改善されるとともに地区の活性化が期待されることとです。

今後も引き続き、リニア中央新幹線の開業も見据え、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい活気と魅力に満ちた「ささしまライブ24」の実現を目指していきます。

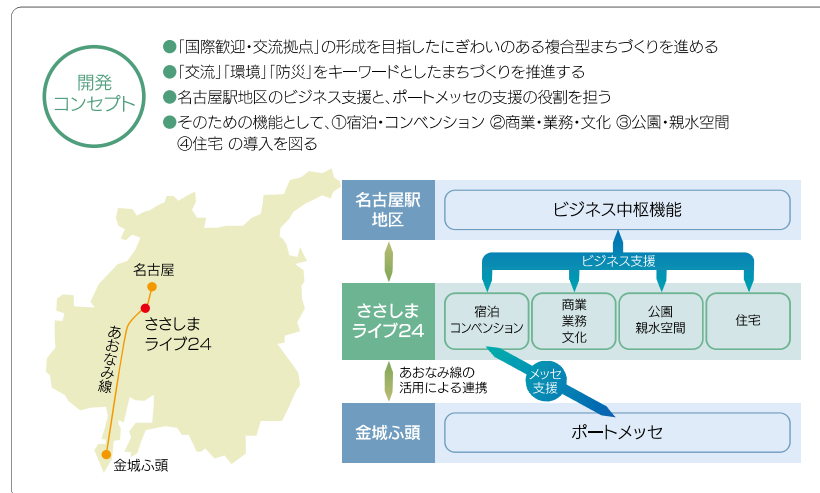


位置図

輝き出す、名古屋駅南エリア 響き合う、国際・交流・知のステージ

国際歓迎・交流の拠点をめざして

「名古屋市都市計画マスタープラン」に、当地区を「国際的・広域的な商業・業務機能などの集積を誘導し、国内外から訪れる人々や市民でにぎわう交流の場を提供する『国際歓迎・交流の拠点』の形成を目指します」と位置づけ、4つのゾーンの土地利用計画を定めました。



土地利用計画 <地区整備方針(抜粋)>

